

## 芦屋市指定文化財（伝猿丸太夫之墓）について

- 1 指定区分  
芦屋市指定有形文化財
- 2 指定年月日  
平成3年3月23日
- 3 名称（よみ）  
伝猿丸太夫之墓（でんさるまるだゆうのはか）
- 4 員 数  
1基
- 5 所有者  
芦屋神社
- 6 所在地  
芦屋神社（芦屋市東芦屋町20番3号）
- 7 年 代  
鎌倉時代後期（13世紀）

### 8 概 要

芦屋神社本殿の西側に所在する花崗岩製の石造物で、宝塔という形式のものです。下から順に、基礎、塔身、笠、相輪からなり、総高は159.5cmを測ります。基礎は4面とも装飾等のない素面です。塔身も素面で肩が張り、やや短めの首部をもちます。笠は軒が比較的厚く、ゆるやかに反り、降棟はみられません。相輪は下から伏鉢、請花、九輪、請花、宝珠からなり、九輪は膨らみ、輪形は浅く太い溝で表現されます。これらの特徴から、鎌倉時代後期（13世紀）に造られたと考えられ、本市に完存する最古の石造物であり、貴重な資料です。

また、伝承では、この宝塔は、三十六歌仙のひとりで8世紀または9世紀の人物とも言われる実在不明の歌人・猿丸太夫の墓とされています。